

～「働きたい」「雇いたい」を応援します～

十勝障がい者就業・生活支援センターだいち



だいち通信 vol. 63

2019年5月8日発行

〒080-0016 帯広市西6条南6丁目3番地ソネビル2F TEL (0155)-24-8989 FAX(0155)-20-7367
E-mail shien-daichi@ymail.plala.or.jp URL http://www.keisei-kai.jp/daichi/



新年度が始まりました

新年度がスタートしました。通信が届く頃には元号が「令和」となっていると思います。気持ちを新たに活動すること、時代が変わっても大切にしたいこと、障がいをお持ちの方への雇用情勢が常時変化し続ける今だからこそ、日々の業務にそれぞれの思いを巡らせながら取り組んでいきたいと考えています。

今年度の活動方針については、①ご本人・ご家族・企業・関係機関等からの個別相談、②障がい者雇用についての理解促進と普及啓発、③ご本人が希望すれば、できる限り住み慣れた地域での就業生活を実現できるような地域づくりの三本柱が基本となります。

①の個別相談については、前年度までの活動の中で、必要に応じた巡回相談を導入することにより、地域の相談支援機関等と連携した相談体制が少しずつではありますが形になってきたことから、徐々に地域の相談機関へのサポートにシフトする考えです。②、③の活動については「だいち」が地域から期待されている役割と感じていることから、今年度はより重点的に活動していければと思っております。そのために、様々な関係機関にご意見を伺いながらすすめていきたいと思っております。

当センターの活動状況につきましては、随時ホームページで更新していく予定です。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

センター長 新明 雅之

～今年度のスタッフ体制～

センター長 兼 主任職場定着支援担当者	しんめい まさゆき 新明 雅之
主任就業支援担当者	さとう なおみ 佐藤 尚美
就労支援ワーカー	かじやま ゆうき 梶山 雄生
就労支援ワーカー	いとうがわ さとみ 井戸川 さとみ
就労支援ワーカー	たにの じゅり 谷野 朱莉
生活支援ワーカー	ほり はづき 堀 はづき
生活支援ワーカー	ごとう ゆみ 後藤 友美



ホームページでは、各種研修のご案内や研修報告などを随時更新しております。また、だいちのパンフレットや研修の申込書、資源マップなどの印刷もできますので、ぜひご活用ください。資源マップの変更・更新が必要な事業所の方は、当センターまでご連絡ください。



<エリア担当>

- 帯広市：後藤・佐藤
- 北十勝（赤色エリア）：谷野・佐藤
- 東十勝（緑色エリア）：井戸川・佐藤
- 南十勝（橙色エリア）：梶山・新明
- 西十勝（水色エリア）：堀・新明
- 東北十勝（黄色エリア）：堀・新明

（新明・佐藤は複数エリアをカバーします）

よろしくお願ひいたします。



- 各市町村からの相談依頼の窓口
- 自立支援協議会やネットワーク会議などを活用した各地域のニーズ把握
- アセスメント依頼が主な役割です。
- ☆都合により別のスタッフが担当する場合があります

平成30年度 実績報告

～毎年、厚生労働省と北海道に報告している年間の相談件数等をお知らせします～

職場実習斡旋件数	身体	知的	精神	その他	合計
	2	47	14	13	76
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	9	0	1	3	

支援対象登録者数	身体	知的	精神	その他	合計
	20	224	155	102	501
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	62	0	4	36	

相談支援件数	身体	知的	精神	その他	合計
	214	2,074	2,469	1,408	6,165
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	905	0	27	476	

職場実習斡旋件数	身体	知的	精神	その他	合計
	2	47	14	13	76
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	9	0	1	3	

就職件数	身体	知的	精神	その他	合計
	2	30	17	7	56
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	5	0	0	2	

職場訪問による定着支援	身体	知的	精神	その他	合計
	28	402	354	188	972
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	163	0	3	22	

だいち 2019年度 研修体制

皆様から頂いているご意見やニーズにお応えできる様、各種研修を企画しています。

今年度は特に学びを深めることに加え、「支援技術の向上」や「企業から福祉機関へ」人材を求めていく働きかけや連携を意識した内容を検討しています。また、地域で行われる研修がより機能し合える様、関係機関の方と調整して進めています。

一般企業に勤めている障がい者対象研修	定着支援研修（年4回実施）	働く上で必要なビジネスマナーやコミュニケーション、社会人の常識を学びます。また、生活上でのトラブル回避や健康についてなど、仕事のために必要な生活の土台作りも学びます。
	余暇支援（必要に合わせ随時）	余暇活動でのリフレッシュや同じ悩みを持つ者同士の交流により、プライベートの充実と仕事に対するエネルギーを蓄えていただく内容です。
企業対象研修	定着支援研修（年4回実施）	障がいをお持ちの方が集まる研修の様子をご覧いただいたり、一緒に参加する機会を設けています。社内で見せる姿とは違う一面の発見になったり、企業の方向土のつながりの場にもなっています。
	雇用促進・就労定着プロジェクト	企業の皆さんのニーズが上がっている「個別支援について」のまなび「企業間の情報交換」「新規就職者獲得」に対し、様々な方法で研修機会を提供していきます。
福祉関係者研修	帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会（年3回実施）	障がい者就労に関するノウハウや就労支援のスキルアップのため、講演や技術研修を行っていきます。今年度は経験や階層別の技術研修を行い、就労支援のスキル向上を目指します。※内容により、企業・教育・行政などの皆様にもご案内しております。
	就労支援担当者スキルアップ研修	
求職者向け研修	ピアサポート研修	企業の皆様とタイアップし、企業紹介や体験会、働く障がいをお持ちの方の体験談などを聞く機会を作ります。（雇用促進・就労定着プロジェクトとタイアップ企画です）
	就労準備研修	社会人になる前に身に付けておきたい内容や、自己理解のための研修を<若者サポートステーション>と連携して行います。特別支援高校の皆様には、当センターの活用も含め、ご本人・親御さん対象にも行っています。
地域啓発	障がい者就労支援ネットワークセミナー（随時）	地域における情報共有・課題の整理・雇用の創出のため、顔の見える関係づくりを進めています。地域づくりコーディネーターとの連携で研修を企画しています。
	地域就労支援連絡会議（随時）	幅広い方を対象に、法制度などに関する情報提供や、地域の現状について皆さんで共有していきます。

新しい職員のご紹介です

人事異動

4月より異動してきました、梶山雄生と申します。帯広生まれ、帯広育ちです。以前は、帯広ケア・センターにて、就労移行支援ジャリブに所属し、就職に関する支援を行ってまいりました。だいちでは就労支援ワーカーとして勤務させていただきます。不慣れなことも多々あると思いますが、1つずつ覚えていき、皆様のお役に立てるよう頑張ってまいりますので、よろしくお願い致します。

新入職員

4月からだいちに入りました、堀はづきと申します。出身地は帯広です。3月に札幌の大学を卒業しましたが、学生の頃から地元で働きたいと思っていましたため帯広に戻ってきました。分からないことが多く、戸惑うことばかりですが、大学の講義で学んだことを活かしつつ、持ち前の明るさで何事にも一生懸命取り組みたいと思っています。だいちでは生活支援ワーカーとして勤務させていただきます。よろしくお願い致します。

4月からだいちに入りました、後藤友美と申します。愛知県より帯広に引っ越してきてから、5年目になりました。だいちでは生活支援ワーカーとして勤務させていただきます。一般企業から福祉の世界に飛びこんでまいりましたので、緊張でいっぱいですが、今まで培った経験を活かしながら、一步一步お仕事に慣れて、皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

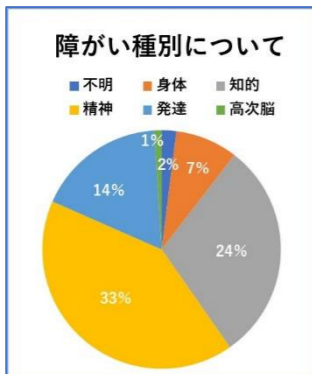
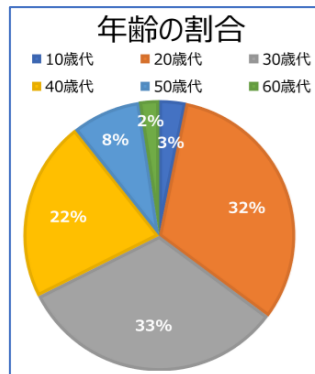
平成30年度 利用者アンケート集計結果

当センターの運営開始から12年が経過し、開設当初から関わり続けている方もいる一方、相談などの役割を終えた後、しばらくお会いしていない方も多くいます。また開所当初とは相談内容や状況も変化しています。

その様な中で、相談者の現状を再度確認させて頂くことで、皆さんが日頃感じている事柄を把握し、「仕事と生活」の両面についての状況とニーズを把握することを目的にアンケートを行いました。得られた情報を参考に、より充実したご提案できる様に研修を企画して参ります。今回はご回答頂いたアンケート結果の中から、企業で働かれている方々の現状と課題についての項目を中心にお知らせ致します。

※903名中 回答率33.6%※

今回のアンケートは903名の方にお送りし、255名の方に回答いただくことができました。また開設から12年経過したこともあり、143名の方が転居等の理由により所在不明となっていました。実質の回収率は33.6%となりました。



年齢の割合は20代30代が多く、特別支援校が増えたことや一般高校を卒業された方からの相談が増えているため、高校を卒業後に登録される若い方が多いということがわかります。

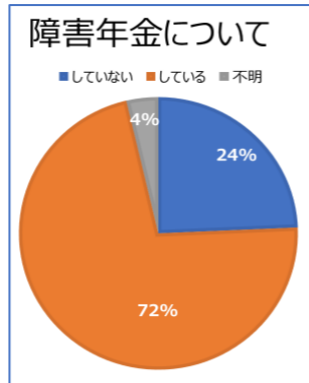
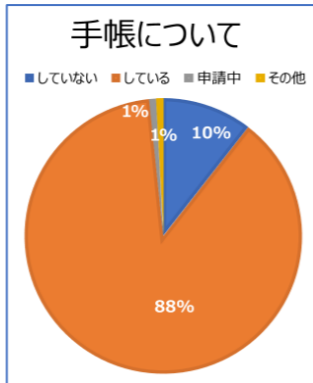
また、50歳代以上の方も1割いることから、多様な働き方についての相談が求められる時代を反映している結果となりました。

障がい種別については、身体7%、知的24%、精神33%、発達14%となりました。

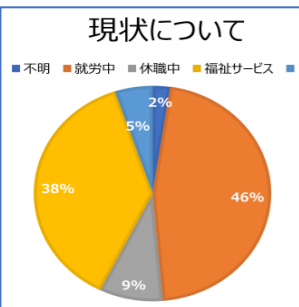
当センターは元々精神に障がいをお持ちの方を中心に相談頂く母体の法人として開設した経緯がありますが、最近では、様々な障がい特性をお持ちの方の相談窓口として活動しています。

手帳については、8割の方が取得されていることがわかります。

年金の受給については、72%の方が受給しており、その内就労中の方に関しては約60%の方が受給している状況です。



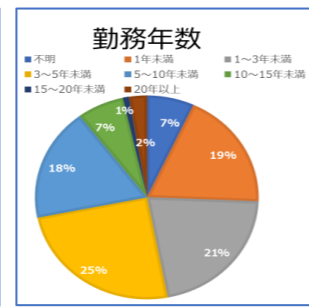
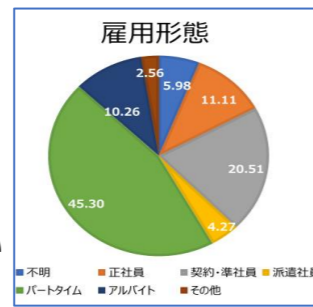
※就労状況について※



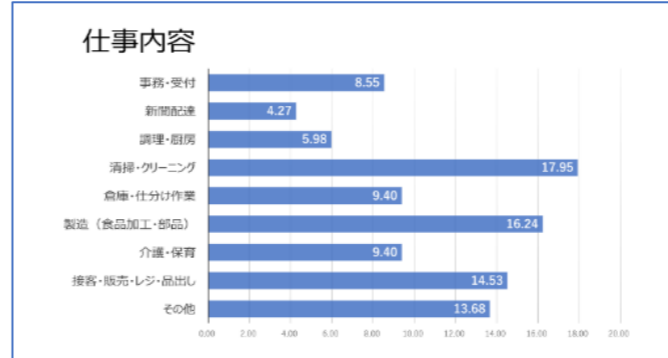
現在の状況については、約半数の方が就労中、約4割の方が障がい福祉サービス事業所を利用中です。

雇用形態（A型は除く）では、パート・アルバイトの割合が半数以上を占めています。ご本人の希望や体調と相談しながら、現在の雇用形態を選んでいる方もいる一方で、キャリアアップを希望されている方も多く見受けられました。

勤続年数を見ると5年未満の方が約70%を占めています。



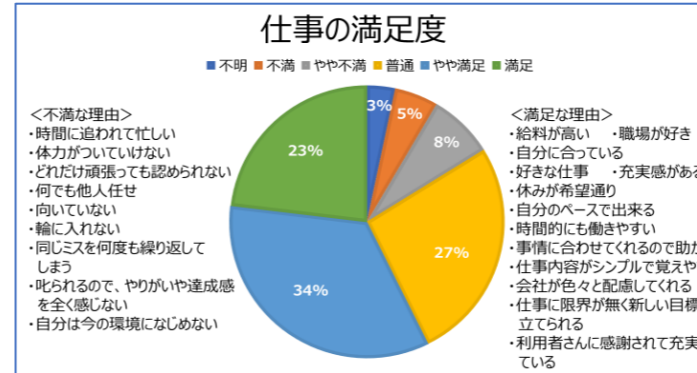
※仕事の中での現状と課題※



仕事に就く上で大切になってくるのがマッチングです。
多種多様な求人（仕事内容）が出ている一方、障がいをお持ちの方が取り組みやすい仕事としては、自分のペースで進められる・シンプルで覚えやすいこと等がキーワードです。また、同じ仕事の中でも受ける配慮次第で、働きやすくも働きにくくなってしまいます。

仕事での悩みについては、3分の2ほどの項目が人間関係に関する事でした。マイペースにできる仕事であっても社内の人間関係はつきものです。

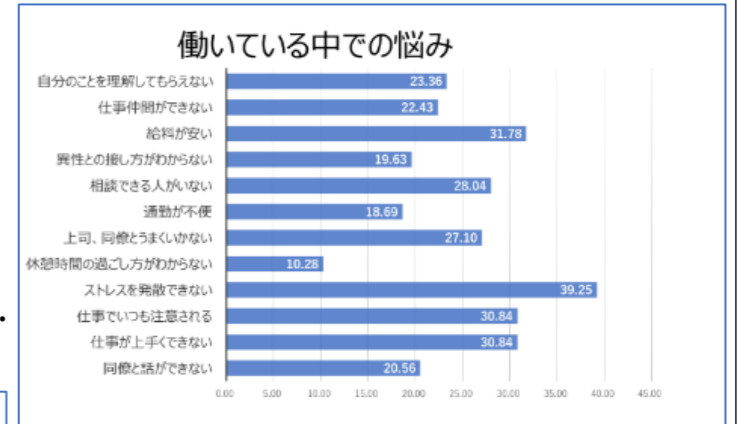
退職理由についても、仕事ができないからというのではなく、上司・同僚との関係が大きな問題になっています。



不安に感じることにあたっては、将来を見据え、収入面から転職を考えたり、転職先が理解ある会社とは限らないことなど、漠然とした悩みがあるようです。

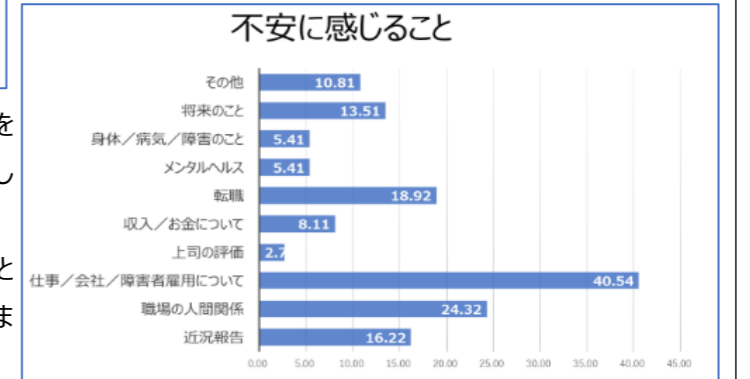
また、同じような境遇や不安を持っている人とのつながりがないことも、考えが広がらなかったり、情報を得られない一因になっています。

その取り組みの一環で、5年前から企業の人材育成とタイアップして進める「定着支援研修」を行っています。



次に仕事の満足度に関する内容です。

現在の仕事については満足度が高い結果が出ていますが、就職時と数年経った後ではご本人の目標やそれに伴う満足度は変わってきます。仕事をする中での役割やキャリアアップなど、ご本人のモチベーションへの働きかけが必要であると考えています。



※余暇活動について※

休日の過ごし方については、『TV・音楽・本・PC・ネット・ゲーム』を挙げている方が約7割を占めています。一人で休日を過ごしている方が多くいらっしゃる一方、定着支援研修などで実際に耳にしている内容としては、「嫌なことや仕事のストレスをその時だけは忘れていられるが、根本的な解消には至らないと感じている」という声も聞かれます。今やってみたいことの項目では、娯楽の充実やスキルアップを求めている方が多く、その中のやってみたい娯楽活動では、室内ではなく外で活動する過ごし方を求めている方が多いことがわかります。仲間と一緒にだからこそ楽しめる内容のものが中心になっています。

この結果を元に昨年度末には、横のつながりや食事の機会を作る目的として、大懇親会を企画するに至りました。

